

< 報道関係各位 >

アデランス

**アデランスの理美容師がウィッグの技術を競う大会
『第50期全国技術競技大会』を実施
～25回目を迎え、グローバルな幅広いお客様層を意識した作品が集う～**

毛髪・美容・健康のウェルネス産業の株式会社アデランス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 津村 佳宏）は、お客様に心からご満足いただける最高の技術を提供することを目的とし、オーダーメイド・ウィッグの作製指示やブロー、カット、スタイリングなどの技術力を競う大会「第50期 アデランス全国技術競技大会」本選を、2019年2月19日（火）に、当社杉並寮内の研修所（東京都杉並区）にて実施しました。

今年で25回目の開催となった「アデランス全国技術競技大会」は、全国のアデランス、レディースアデランスの店舗などで働く理美容師の資格を有する者（2019年2月19日時点該当1,004名）の中から、「メンズ部門」「レディース部門」それぞれの部門において、技術力の高い1名を選ぶ大会です。各予選大会を勝ち抜いた19名の中から、各部門の優勝者を2月19日（火）の本選で決定しました。

今回の大会では、出場者が指示をして作製したウィッグを、薄毛のカットウィッグ（マネキン）に取付け、制限時間1時間でカットやスタイリングを行います。フリーテーマで、毛材の選択や色の組み合わせなど全て自由なスタイルで競いました。35名からなる審査員によって厳しい目で審査され、優勝者が決定しました。「メンズ部門」はアデランス大阪（大阪府大阪市）の本間 智義、「レディース部門」はアデランス広島（広島県広島市）の藤谷 志月が優勝し、代表取締役会長の根本より、賞状が授与されました。



「メンズ部門」優勝者：アデランス大阪 本間 智義（左から2番目）
「レディース部門」優勝者：アデランス広島 藤谷 志月（右から2番目）
根本会長（左）、津村社長（右）と一緒に



アデランス大阪 本間 智義の作品（左）
アデランス広島 藤谷 志月の作品（右）



「アデランス全国技術競技大会」は1980年から開催しており、全国の技術者が技だけでなく、センスや発想力を競い、互いを高め合うことで、お客様に心からご満足いただける最高の商品を提供することを目的としています。アデランス、レディスアデランスのサロンでは、お一人おひとりの頭の形や髪の質、長さ等に合わせて作製するオーダーメイド・ウィッグを中心に取り扱っています。オーダーメイド・ウィッグは、お客様の自髪を活かし、自髪とウィッグの境目や髪質の違いが分からないように自然に仕上げるため、自髪とウィッグとの馴染みを考えたカットやブロー、スタイリング、さらには髪色や質感に優れた上質なウィッグを作る生産指示（毛材のミックス、ベース選びや、植える量の指示など）の技術が必要となります。また、当社他社商品問わず、お客様のご相談に乗りながらウィッグのアフターメンテナンスを施すためにも、様々な種類のウィッグやお客様の魅力を引き出すご要望に対応できる技術力が重要となります。当社のサロンで調髪やメンテナンス、アフターサービスにおける技術・接客を担当する者はすべて理美容師資格を所有しており、本大会を通じて経営理念である「最高の商品」「最高の技術と知識」「心からのおもてなし」の実現を目指します。

■「第50期 アデランス全国技術競技大会」概要

- 開催日： 【本選】2019年2月19日（火）【予選】2018年7月～9月
- 開催場所： 【本選】株式会社アデランス 杉並寮内の研修所 ※予選は各予選会で異なる
- 応募資格： 株式会社アデランスに在籍し、アデランス、レディスアデランスのサロン、医療事業推進部、美材ルート営業部、東・西日本営業統括部（展示会担当）で勤務する理容師または美容師の資格を有する者。
- 選考の流れ： 全国のアデランス、レディスアデランスの店舗を8のエリアに分け、各エリアで予選大会を行い、理容師、美容師から19名を選出。「メンズ部門」「レディース部門」それぞれの優勝者を決定。
- 審査員： 株式会社アデランス 代表取締役会長 根本 信男、代表取締役社長 津村 佳宏や、フォンテーヌの専属ヘアプロデューサーでトップヘアスタイリストの野沢道生氏などの審査員35名。



真剣な眼差しで技を競い合う出場者の様子

■メンズ部門優勝者紹介

アデランス大阪 本間 智義

【受賞コメント】

他の出場者の想像力、イマジネーション力に驚きました。競技中は時間との戦いなので、いかに効率よく、的確にスタイリングできるかが鍵でした。「技術に終わりはない。まだまだ良くしていける」と実感しました。今大会での経験をお客様にフィードバックしていただけるよう取り組んでまいります。



【作品について】

「世界のブランド アデランス」として、国内外問わず、お客様一人ひとりに合ったヘアスタイルを提案したいという思いから、今回のテーマは「グローバルスタイル」にしました。ツーブロックをベースに、ライン部分はギザギザにして遊び心を取り入れました。ウィッグの根元から毛先にかけての淡いグラデーションが美しく映えるスジ盛りと、タトゥーのように見えるカラーペイントに力を入れました。

■レディース部門優勝者紹介

アデランス広島 藤谷 志月

【受賞コメント】

先輩方や、店長、営業部長の熱い応援に応えたい一心で、全力で挑みました。今大会で「自分の技術はまだまだ実用的ではない」と認識しました。今後はもっと自分の技術に自信を持ち、アピールできるような作品を作れるようになりたいです。そしてお客様の宝物になる商品の一つでも多く作っていきたいです。

【作品について】

テーマは「アンティーク」とし、もっとも苦戦した頭頂部のバラが一番のアピールポイントです。ブリーチをしてもなかなか黄味が消えず、理想の色が出るまで、時間をかけて取り組みました。ブリーチを繰り返して傷んだ毛髪でいかにつやを出すか、パーマをしっかりとかけるかにこだわり、練習に練習を重ねました。アンティーク人形をイメージした、青い目の儂げなメイクにも注目してほしいです。

